

令和6年度 第1回 高知県道路メンテナンス担当者会議 開催概要

- 令和6年7月4日、高知県内の道路メンテナンス関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策に資するため、担当者会議を開催しました。
- 座学において点検支援技術の活用事例の紹介や定期点検要領改訂の概要説明した後、現地の実橋梁を用いて定期点検要領改訂内容について説明しました。
- 参加者から、点検記録様式の「特定事象の有無」は判断が難しい等の意見がありました。

【日時・場所・参加者】

- ・日 時 : 令和6年7月4日(木)10:00~14:30
- ・座 学 : 土佐国道事務所会議室(一部WEB併用)
- ・現地実習 : 県道春野赤岡線 中川橋
- ・出席者: 高知県内道路管理者(国・県・市町村・西日本高速)73名

【座学内容】

- 橋梁点検支援技術の活用事例について紹介
 - ・無人航空機(マルチコプター)を利用した橋梁点検システム
 - ・遠方自動撮影システム
 - ・赤外線トータルサポートシステム J システム Evolution
 - ・マルチビーム測深機搭載の無人ボートによる深浅測量
- 定期点検要領改訂主旨についての説明
 - ・定期点検要領改訂の概要

【現地実習内容】

- 点検記録様式を用いての実習
 - ・従来版と改訂版を比較しながら実橋梁を用いて「技術的な評価結果」や「特定事象の有無」等について説明



▲写真上 座学の状況



▼写真下 現地実習の状況